

事業所名

らいおんハートからだの児童デイ沖縄コザ(放課後等デイサービス)

支援プログラム(参考様式)

作成日

7年

3月

10日

法人(事業所)理念	障がいの壁を乗り越えた社会づくりのために、できることから少しずつ。障がい者を持っている方もそうでない方も、ひとつの社会となるのが当たり前の中へ。一人ひとりのかけがえのない平等で大切な命のための支援事業です。							
支援方針	集団療育と個別療育のどちらも取り入れてお子様が成長していく上で社会に順応できるように支援します。家族以外の他者とのふれあいを大事にし特性の理解を行いながらお子様が自分の意志で意思決定出来たり、個々の要求要望を自ら発信できる様力を育みます。多職種が連携し、それぞれの特性に合わせたプログラム作成を行っており色々な目線での支援を致します。							
営業時間	9時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	事業所に到着後バイタルサインを測定し、日々の体調に合わせた活動を行います。生活リズムをご家庭と一緒に把握していき、基本的な生活スキルの獲得が可能となるよう、1日のスケジュールを提示して、活動・遊び・食事・排泄等の生活リズムを身に着けます。自分で出来る出来たを大切に、なるべく自分で出来るところは挑戦する気持ちを大事にします。ご希望のあるお子様には入浴支援を行い、清潔を保つだけでなく、リラックスできる時間となるよう支援します。活動は年間行事活動計画、個別支援計画に基づき支援をします。医療的ケアが必要なお子様は、医師による指示書に基づいた医療的ケアを実施します(痰の吸引、胃ろう、鼻腔栄養、投薬、呼吸器管理など)						
	運動・感覚	散歩・ダンス・ボール遊び・体操などを通して運動機能の向上に努めます。(月二回の全体でのオンラインダンスレッスン実施。他の児童との協力しての自由遊び) 日常の活動の中で体幹の強化・良肢位の保持を専門職に助言してもらい習得します。季節を感じられる作品を作るなどの工作活動も行います。(指先や手で感覚を感じて興味を持ってもらえるように支援します) また、1人1人の能力や状況に応じてリラクゼーションやストレッチなど、個別支援を行います。						
	認知・行動	作業療育によるマッチング、ひも通し、型はめ等により数量、大きさ、色、空間の概念形成を習得します。視覚、触覚、聴覚、体の感覚を十分活用し、嬉しさ、楽しさを表出できるような支援をします。今日のお天気、絵本の読み聞かせ、体操などの活動を通し、興味のある活動や楽しくできる活動を増やして行きます。唾液や痰で苦しくなってしまった時には、医療処置と共にスタッフの声掛けで排痰や深呼吸を促すなど、お子様の自発的な行動ができるような声掛けを行います。						
	言語コミュニケーション	1人1人の能力や状況に応じて読み書きの練習を行なっていき知識をつけていきます。一人ひとりのもつ表出(表情、発声、発語、頷く、手で合図をする、体に力が入るなど)サインを大切に、自己表出が身に着くような支援をします。お子様の表出をご家族、他に通う事業所、学校とも連携する事により、周囲からの理解が得られることで自己表現の楽しさを身につけます。活動ではマカトンサイン、手話、絵カードを状況に応じて使うことで意志の伝達が円滑にできるように支援します。						
	人間関係社会性	場所場所にルールがあり、それに基づいて社会が形成されていることを理解していけるように訓練していきます。集団の中において、成長に伴う自身の役割の変化を意識し実践します。事業所内だけでなく、図書館や公園、お買い物に出かけることで、事業所以外で安心できる場所を作り、公園でお友達の声や山間いたりしながら、同じ空間で過ごす事に慣れていくよう支援します。また、事業所をご利用されるお友達と同じ活動(集団活動)を行う事で、一緒に楽しみ、喜べる機会を経験します。						
家族支援	家庭内での困りごとに対するサポート(連絡ツールや音声通話、WEBミーティング、訪問、来所等) ・年2回以上のモニタリング実施と共に保護者会を設けます。				移行支援		・必要に応じて進学進級時や卒業後の進路等についてご本人、ご家族への助言を行なう ・保護者の了解を得た後、学校や卒業後の進路先との情報共有を行なう	
地域支援・地域連携	・見学希望者の随時受け入れ ・地域支援(公園等)を介した地域児童及び保護者との交流				職員の質の向上		定期的な職員研修(年12回)・新人職員向け研修 ・e-ラーニングシステム利用での業務マニュアル一元化や学習各種委員会の設置	
主な行事等	季節ごとの季節感を感じることができる行事(夏祭り、クリスマス会、節分等) お誕生日会 月2回全体オンラインダンス療育 防災訓練(年2回)							